

眼底撮影にご協力いただける健康なボランティアを募集しています。

九州医療センターでは、下記の臨床研究をするために眼底撮影検査を受けていただけるボランティアの方を募集しております。本研究に参加希望の方・本研究に関するご質問等がありましたら、研究内容、募集要項等をご確認の上、下記[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

[研究課題名] 光干渉断層装置 Angiography (OCTA) を用いた  
網膜疾患における血管病変に関する研究

[当院の研究責任者] 九州医療センター 眼科科長 中尾 新太郎

[研究の背景]

今までの眼底の血管の評価は、蛍光眼底造影検査が行われていました。これは、検査前に造影剤を点滴してから眼底検査をするため、まれに造影剤が体に合わず体調を悪くされる方もいらっしゃいました。本研究では、造影剤を使用せず眼底検査を行い眼底血管構造の評価ができる新たな手法である光干渉装置 Angiography (OCTA) を用いることで、患者さんへの負担が少なく眼底血管構造の評価を行うことができると考えました。

[研究の目的]

健常人及び網膜疾患患者の眼底撮影を行い、OCTA と従来の OCT 画像や蛍光眼底造影検査等と比較検討し、OCTA の優位性を評価するとともに、その臨床的有用性を総合的に評価することである。

[募集要項]

- 対象となる患者さん：20 歳以上の健康な方（網膜疾患以外で九州医療センター眼科を受診し、網膜疾患がないことを確認できた方）
- 募集期間：西暦 2021 年 1 月 12 日から西暦 2022 年 3 月 15 日
- 撮影実施期間：西暦 2021 年 1 月 12 日から西暦 2022 年 3 月 31 日
- ご協力いただく内容：眼底撮影検査（造影剤は使用しません）
- 募集人数：20 名程度

[研究参加の工程]

- ① ご希望の方は、[募集要項]を確認の上、下記[当院問い合わせ窓口]にご連絡下さい。
- ② 撮影日程を調整し、決定いたします。
- ③ 撮影日に研究担当者より、本研究に関する詳細な説明をさせていただきます。
- ④ 説明内容にご同意いただけましたら、同意書にご署名いただき、検査を開始致します。

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

- ⑤ 説明および検査あわせ約 30 分かかります。(※救急の患者さんが優先となるため、お待たせする場合があります。あらかじめご了承ください)

※検査費用についてご負担いただくことはありません。

※交通費や謝礼などもございません。

[研究方法]

本研究では、当院 HP にて一般健常ボランティアの募集を行い、研究内容に賛同し、同意の得られた一般健常ボランティアのご協力により施行します。

この研究への参加に同意いただけましたら、細隙灯検査(さいげきとうけんさ：顔を機械のあごあてに乗せ、細隙灯といわれる顕微鏡を使い、光を目にあてて目を調べる検査)による前眼部検査を行い、浅前房(せんぜんぼう：眼球の中には透明な液体が入っています。この液体の通り道がもともと狭いことをいいます)と白内障の確認を行います。浅前房や白内障が認められなかった方を被験者として登録させていただきます。その後散瞳剤点眼にて散瞳し、倒像鏡検査(とうぞうきょうけんさ：凸レンズを目の前にかざし、懐中電灯のような光源を眼にあてて調べる検査)・眼底写真・従来 OCT 検査に加え、OCTA にて眼底を撮影します。臨床上、医師が必要と判断した方に関しては、視野検査(しやけんさ：まっすぐ前方を見るときに、上下左右前方、どのくらいの範囲をみえているか調べる検査)を追加で施行することもあります。OCTA 検査により得られた画像データは、画像解析ソフトを用いて解析を行い、下記情報との関係を調べます。

◎取得する情報

年齢、性別、身長、体重、検査歴及び病歴に関する情報(最高矯正視力、眼圧、細隙灯顕微鏡検査、倒像鏡眼鏡検査、眼底写真、従来 OCT 解析データ  
使用機器は、Carl Zeiss 社、Canon 社の承認医療機器となります。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究で得られたデータを利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は用いませぬ。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

眼科 科長 中尾 新太郎(代理 眼科秘書 渋田 知子)

代表電話 092-852-0700 (平日 13:00~15:00)

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1